

スマートテキスタイル研究会（第38回）

【日時】 2024年9月13日(金) 15:00～17:00

【会場】 福井市地域交流プラザ「AOSSA (アオッサ)」6階研修室 601B、601C (福井県福井市手寄 1-4-1)
JR 北陸新幹線「福井駅」東口を出て右手に見える商業ビル HP: <http://www.aossa.jp/access/>

【主催】 産業技術総合研究所次世代スマートテキスタイル製品化コンソーシアム

【共催】 スマートテキスタイル研究会

【内容】 次世代スマートテキスタイル製品化コンソーシアム第1回研究会

14:45～	受付開始 研究会会場 AOSSA (アオッサ)6階研修室 601B・C前
15:00～	開催挨拶 次世代スマートテキスタイル製品化コンソーシアム事務局長
15:05～15:55	講演(1)「メディカル応用に向けた着用可能な電子回路基板技術」 (オンライン講演) 東京大学大学院 工学系研究科 精密工学専攻 准教授 高松誠一 現在、医師不足や高額の治療費に対応するため、家庭で可能な疾病予防や診断技術の開発が求められている。その中で、様々な病気のために、生体電気信号やバイタルサインを検知するウェアラブルデバイスが開発されている。次世代技術は、このようなバイタルデータから、体内の組織を見る超音波診断装置などのウェアラブル化が求められている。本講演では、次世代のウェアラブルな超音波診断プローブを紹介する。また、この技術のための着ることができる電子回路技術も解説する。
15:55～16:05	休憩
16:05～16:55	講演(2)「人間拡張技術にもとづくデータを軸としたサービス：ふくい桜マラソンを例として」 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 共創場デザイン研究チーム長 村井昭彦 2024年3月に開催されたふくい桜マラソンにおいて、ウェアラブルデバイスと専用ウェアを開発し、ランナーの42.195kmにわたる走行データを計測・可視化・フィードバックを実現しました。この取り組みは、単なる製品の販売にとどまらない、PAAS (Product AsA Service) というビジネスモデルの可能性を示唆しています。本講演では、人間拡張技術を活用して日常生活で得られるデータをどのようにサービスとして展開できるかを、ふくい桜マラソンの事例を通じて紹介します。
16:55	閉会挨拶 次世代スマートテキスタイル製品化コンソーシアム事務局長
17:30～	懇親会 福井駅近辺

【参加費】 講演会：スマートテキスタイル研究会メンバー無料（個人会員は本人に限り、法人会員は複数名可能）
懇親会：お一人 6,000円